サポート情報記事

My PoliciesをMicrosoft Teamsに追加する方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

依存する設定を準備する 4

アプリを利用可能にする 4

ハブとページの移動を検証する 5

インストールと通知を区別する 5

試験導入の問題を調べる 6

付属のTeamsパッケージはMy Policiesを個人用アプリとして提供します。基になるポリシーレコードはSharePointに保持したまま、従業員がTeamsから割り当てにアクセスできます。アプリの追加は、SharePointソリューションのインストール、ハブの準備、バックグラウンド通知の設定とは別の作業です。

依存する設定を準備する

KB10035. SharePoint Online に Vitextra 製品をインストールする方法とKB10497. Policy Acknowledgement：要件と権限に従い、Policy AcknowledgementのSPFxパッケージを展開して、要求されたAPI権限を承認します。先にハブ設定を完了し、SharePointでMy PoliciesとPolicy Readerをテストしてください。Teamsへのインストールでは、不足するリスト、誤ったロール、アクセスできないソース文書は修復できません。

製品の配布物から対応するTeamsアプリパッケージを入手します。ソースプロジェクトでは`TeamsSPFxApp.zip`という名前で、マニフェストとアイコンが含まれています。リポジトリ全体のzipではなく、パッケージ化されたアプリを使ってください。マニフェストはMy Policiesという個人用タブを定義しており、設定可能なチームチャネルタブではありません。

アプリを利用可能にする

1 Teamsアプリの管理者に、組織のアプリ管理手順を通じて付属パッケージをアップロードしてもらいます。
2 パッケージがVitextra Policy Acknowledgementと個人用My Policiesタブを識別していることを確認します。
3 組織のアプリ権限と配布ポリシーを使い、小規模な試験導入対象者に公開します。
4 試験ユーザーのTeamsアカウントでMy Policiesを追加または開きます。
5 ユーザーが、ポリシー割り当てを受け取ったものと同じ組織とアカウントでサインインしていることを確認します。

Teams管理画面のナビゲーションとアプリポリシーは、この製品の外で管理されます。全従業員がカスタムアプリをアップロードできると仮定せず、テナントの承認済み配布手順に従ってください。マニフェストの個人用スコープは、アプリを全員に自動インストールするものではありません。



Teamsの個人用アプリとしてのMy Policies

ハブとページの移動を検証する

アプリはSPFxのMy Policiesコンポーネントと、そのハブ検出動作を使います。ハブURLを明示的に設定しない場合は、既定の`/sites/VitextraPolicies`も含めて利用可能なハブを探します。独自のハブでの導入は、実際のTeams環境で検証する必要があります。正常に動作するSharePointページのプロパティ値が個人用アプリにコピーされていると考えないでください。

割り当てを開き、目的の閲覧ページに移動することを確認します。別途設定されていなければ、検出したハブの`SitePages/PolicyReader.aspx`に移動します。ソースへのアクセス、確認操作、受領書を確認し、My Policiesに戻って再読み込みし、状態を確認します。KB10499. Policy Acknowledgementのページを作成しWebパーツを接続する方法とKB10506. ポリシーを読み、確認を記録する方法を参照してください。

インストールと通知を区別する

Policy Adminの**通知**には**Teams アプリがテナントに追加されました**があります。完了した展開を反映するように設定して保存します。これは保存された設定フラグです。切り替えてもパッケージはアップロードされず、各従業員がインストールしたかどうかを独自に検出するわけでもありません。

メモ

付属マニフェストは個人用タブを定義します。それだけでは、通知ボットやアクティビティフィード配信が展開されている証拠にはなりません。Teams通知設定には、別途接続するサービスと、その配信方式の検証が必要です。手動でのアプリアクセスと自動通知配信は、別々の受け入れチェックとしてテストしてください。

試験導入の問題を調べる

アプリを利用できない場合は、テナント管理者とTeamsのアプリポリシーと配布を確認します。開くもののポリシーがない場合は、再インストール前にサインイン中のアカウント、ハブ、キャンペーン対象者を確認してください。移動に失敗する場合は、同じ閲覧URLをSharePointでテストします。機密のポリシー本文を含めず、アプリのバージョン、ユーザーアカウント、失敗するURLをサポート用に記録してください。